

99 ソニーセミコンダクタ株式会社 熊本テクノロジーセンター（熊本 TEC）【熊本県】

地域に向けて積極的人材募集、「使った水を戻す」地下水涵養事業に取り組む

豊富な水(地下水)や優秀な人材が確保できること、既存の事業所とのアクセスの利便性、県内地場企業との繋がり、半導体関連企業が多く存在することなどにより、熊本・菊陽町にテクノロジーセンターを設立。熊本の豊富な地下水を使用していることから、「使った水を戻す」地下水涵養事業への取り組み、地域の優秀な人材を多く採用するなど、地元の環境を守り、地域を活性化させる多くの活動を行っている。

事業背景

- 需要が高まっていたイメージセンサーの生産能力を拡張すべく、新たな展開先を検討した結果、以下の理由で新たに熊本県に工場進出。
理由：将来も見据えた広いスペース、豊富な水（地下水）、優秀な人材確保に有利な点、既存の事業所とのアクセスの利便性、熊本県や菊陽町の協力・支援、県内地場企業との繋がり、半導体関連企業が多く存在すること。
- 後工程の装置は当社独自で製作しており、地場メーカーに組立設備や搬送設備等の製作を依頼。結果、当社全体の部品、装置、材料などの取引（調達）総額の約3割を九州域内に振り向け、九州企業が約540社でそのうち熊本は約150社を占めている（2013年度実績）。
- 最先端技術（裏面照射型CMOSイメージセンサー）を早期に量産展開すべく、ソニー（株）の研究開発機能の一部を熊本に移管し、熊本TECメンバーと一体となった開発体制を構築。量産事業所での直接開発によって、開発期間を大幅に短縮、高い完成度で量産技術を完成させている。

技術者の採用背景

- 地域に向けた人材募集の積極活動：HP 求人、新聞広告（Uターン層）転職サイトへの求人広告
- 九州を中心にした新卒採用：HP 求人、新卒採用サイト求人広告、九州圏国公立大学の学校推薦
- エンジニアの地元比率：九州圏内 88%、熊本 54%（2013 年度実績）
- 地域学校への講師派遣：熊本県立技術短期大学、ポリテクカレッジ
- 地域大学との研究連携：熊本大学、九州工業大学
- 長期インターンシップ受入：熊本大学
- 熊本大学での特別講義：『組み込みシステム関連産業概論』

地域振興活動

■地下水涵養事業の取り組み

熊本の豊富な地下水を使用している熊本TECでは、貴重な熊本の水資源を守るため、「使った水はきちんと戻そう」をスローガンに、地下水の還元を目指す「地下水涵養」を実施。町や農家の協力を得て、稲作時期以外の水田や、減反で休耕田になっている畑に水を張り地下に水を戻している。地下水涵養を行なう水田の一部で、毎年、従業員による田植えや稲刈りを行ない、収穫した米は、社員食堂で提供。涵養事業は日本企業初の取り組み。取り組みはくまもと環境賞、朝日企業市民賞（朝日新聞社主催）、第10回生物多様性条約締約国会議（COP10）での講演、平成26年度の「環境白書」の掲載（環境省発行）、肥後の水資源愛護賞などを受賞している。

■地元の多く協議会に積極的に参加

- セミコンテクノパーク協議会：工業団地（約 1 万人勤務）のインフラ、渋滞対策を県、町に要望している。
- セミコンフォレスト推進会議：新技術・新産業の創出や人材育成・販路拡大につなげている。
- 菊陽町商工会：相互の事業活動を活性化し、持続的な関係を維持すると共に地域貢献を果たしている。
- 熊本県工業連合会：工業の振興とともに地域社会の発展に貢献し産学官連携に繋げる。

■熊本 TEC 夏祭り

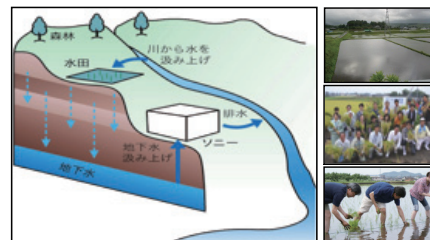
地域住民、県庁・町役場関連他を招待。菊陽町夏祭りにも参加（盆踊り）している。

■九州半導体エレクトロニクスイノベーション協議会（SIIQ）

地域大学を通じて、会員企業、九州各県の企業との新たな取引や共同開発など産学官の連携を加速すべく取り組んでいる。

■第 5 回ものづくり日本大賞 “内閣総理大臣賞” 受賞

革新的な最先端技術開発と地元九州を中心とした国内生産活動が高く評価された。



■地下水涵養事業の取り組み



■九州半導体エレクトロニクスイノベーション協議会（SIIQ）



■熊本 TEC 夏祭り



■菊陽町夏祭り



■第 5 回ものづくり日本大賞 “内閣総理大臣賞” 受賞